

「第5回徳山ダムモニタリング部会」 審議内容メモ

日 時：平成21年11月30日（月） 14:30～16:50

場 所：名古屋通信会館 菊の間

出席者：（委 員）駒田部会長、西條委員、中村委員、野平委員、藤田委員、前田委員、
松井委員、松尾委員（五十音順） 8名
（事務局）34名 （一般傍聴）1名 （報道機関）1社

【審議内容等】

1. 前回（第4回）部会の審議内容等の確認

- ・第4回モニタリング部会（平成20年11月27日）の審議内容を確認した。

2. 徳山ダムの管理状況について

- ・徳山ダムの管理状況として、洪水調節実績、利水補給実績、堆砂状況および徳山水力発電所の工事施工状況について報告を受け、内容を確認した。

3. モニタリング調査について

(1) ワシタカ PT

- ・湛水開始後3年目の猛禽類の生息・繁殖状況に関し、湛水前の既往の繁殖ペアが全て繁殖活動を継続していることが確認されたほか、以前に生息していたダム本体がある地域に新たな繁殖ペアが定着し繁殖したことが確認されたこと、今後は特に湛水開始前後の行動圏内部構造の変化に留意した解析・とりまとめを行うこと等の報告を受け、内容を確認した。

(2) 植物 PT

- ・重要種の移植後の定着状況及び直接改変区域周辺に生育する個体の監視結果、環境ベースマップの更新状況、上流端河岸植生調査の実施状況、貯水池内の水生植物の生育状況、下流河川の植生断面調査結果、オオムラサキの繁殖状況調査の予定、植生回復地における管理状況およびコア山の土壌調査実施状況について報告がなされ、審議し、以下のとおり指摘した。

ダムサイトの法面の植生管理を継続的に実施すること。

コア山のススキ草地の管理方法については、木本類を残した草本の刈り取りに留意すること。

(3) 生育・生息環境 PT

- ・試掘横坑のコウモリ類の利用状況、甚しやく湿性地上におけるコウモリ類の出現状況、本支川流入部におけるカジカガエルの生息状況、陸域動物相調査（哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、陸上昆虫類）の結果について報告がなされ、審議し、以下のとおり指摘した。

試掘横坑のコウモリ類の利用状況に関し、TL-34 坑に糞の山（グアノ）があった

ことから、冬眠前の12月頃までに利用状況を確認すること。

甚しく湿性地上におけるコウモリ類の出現状況に関し、調査日、調査方法および飛翔データについて確認の上、訂正すること。また、湿性地上補足調査は定性的に実施したものであり、甚しく湿性地上をコウモリ類が餌場として使っているのは確実であるが、最終とりまとめに向けて考察の方法を検討すること。

(4) 河川環境 PT

- ・環境保全河川における魚類調査の結果、貯水池の上流河川における魚類調査の結果、魚類の移動に関わる貯水池末端の連続性状況調査の結果について報告がなされ、審議し、以下のとおり指摘した。

魚類の移動に関わる貯水池末端の連続性状況調査に関し、他の支川とは状況が異なっていると考えられた白谷の状況については、水流の状態に影響を与える流量条件等を整理しておくこと。

今後のとりまとめにおいて、ダム湖内の魚類の動向についても留意すること。

(5) 水質

- ・流入河川および下流河川における水質調査の結果および貯水池内における水質調査の結果について報告がなされ、審議し、以下のとおり指摘した。

網場地点の下層のデータについては地形を把握するとともに、データに採水標高等の注釈をつけること、また「底上+1m」は水質の代表性を考慮して採水方法を検討すること。

水質指標の変化に関する評価について、CODとBODとの相関を整理しておくこと。DOについては飽和度を整理しておくこと。

(6) 今後の予定

- ・本モニタリング部会の今後の予定について報告を受け、確認した。

4. 審議内容の確認

- ・本日（平成21年11月30日）の審議結果を本メモに基づいて確認した。

以 上